

ヨハン・ハインリッヒ・
ペスタロッチ

ダニエル・トレエラー著

乙訓 稔 監訳

大沢 裕・椋木香子訳

Daniel Tröhler

Johann Heinrich Pestalozzi

日本語版への序

ペスタロッチと日本——例外的な関係なのか、通常の関係なのか——

日本において、ペスタロッチが百年来ずっと注目されていることは、一見すると驚くべきことである。とりわけ、言葉と同様にまた宗教や政治制度も非常に異なっているのに、今日スイスと日本の間の緊密な関係が少しも失われていないことは素晴らしいことである。それゆえ、日本とペスタロッチの関係も特別なことなのである。

しかし、この特別なことは、そもそも同じ歴史的基底を有している。日本は睦仁(明治)天皇の治世下で西欧に目を向け、欧州風の帝国主義の強国となつたし、また——一九世紀におけるすべての西欧の国々のように——日本の全住民を国民という名のもとに義務を負わせる必要性